

python(パッケージ管理)

pythonで別のファイルに作成した**クラス、関数、変数**などを利用することができます。

```
import sys
```

```
print(sys.path) #パッケージの検索先のディレクトリを表示。デフォルトでpythonファイルの場所とAnacondaの仮想環境作成先
```

PYTHONPATHに変数として追加すると、読込先が増えます。

```
sys.path.append()
```

パッケージの読込みには、import パッケージ先、 from パッケージ名 import オブジェクト名 ←as 変数名とすることで扱う際の名前を変えられます

オブジェクト名には、**ファイル名、関数名、クラス名、変数名**などを書きます。

```
dir1/
```

```
    sample.py
```

```
main.py
```

↑main.pyにimport dir1.sampleとすることで、

dir1.sample.〇〇を実行するとsample.pyの中にある〇〇を利用できる

from dir1.sample import 〇〇、from dir1 import sample でもsample.pyの中のオブジェクトを扱える

from dir1.sample import * とすると、sample.pyの中のオブジェクト名を扱える

パッケージの中に以下のように記載することで、読み込んだ時に処理が実行されない

```
if __name__ == '__main__': # python ファイル名として場合だけ__name__に__main__が格納され、実行される  
    処理
```

dir1フォルダの中に__init__.pyを作成する。main.pyでfrom dir1 import * とすると__init__.pyでimportしているパッケージを読み込む

__init__.pyに__all__ = [""] とするとmain.pyでfrom dir1 import * で読み込まれるパッケージを指定できる。

__init__.pyにfrom dir1.sample import 〇〇とすることで、main.pyでfrom dir1 import 〇〇として指定できる